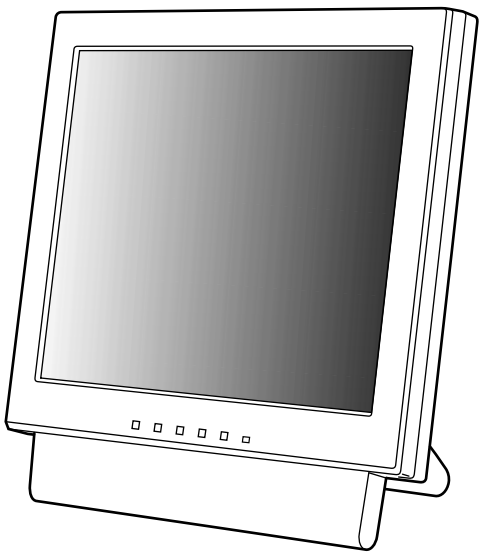
SHARP®

取扱説明書

液晶カラーモニター

形名 LL-T1200T



もくじ

		ページ
はじめに	安全にお使いいただくために	3
	付属品の確認	5
	各部の名前とはたらき	6
接　続 電源入・切	接続・電源入 / 切	8
	コンピュータの接続	8
	シリアル接続ケーブルの接続(タッチパネル用)	8
	電源の接続	9
	電源の入れ方	9
	電源の切り方	9
タッチパネル	タッチパネルの使用準備	10
	タッチパネルドライバのインストール	10
	タッチパネルの操作について	11
画面調整	画面調整	12
	画面調整について	12
	バックライトの明るさ調整	13
	カラーモードの設定	13
	画面の自動調整	13
	画面の手動調整	14
補　足	お手入れ・保管・アフターサービスについて	17
	お手入れのしかた	17
	保管にあたって	17
	故障かな？と思ったら	17
	アフターサービスについて	18
	お客様ご相談窓口のご案内	19
	仕様	20
	セットアップ情報について(Windows)	22
	VESA規格準拠アームの取り付け方	25

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

※ TFT カラー液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また、見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも液晶モニターの動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
※長時間静止画を表示しないでください。残像の原因になることがあります。
※輝度調整を最小にすると、見えにくいことがあります。
※コンピュータ信号の質が表示品位に影響を与えることがあります。高品位の映像信号を出力できるコンピュータの使用をおすすめします。
※ 本機は付属品も含め日本国内(AC100V)用です。海外では使えません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオやテレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。
　※この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
　※この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。
なお、くわしくは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご相談ください。

本書の表記について
※本書では、Microsoft Windows XP Home Edition と Microsoft Windows XP Professional を「Windows XP」、Microsoft Windows Millennium Edition を「Windows Me」、Microsoft Windows 2000 を「Windows 2000」、Microsoft Windows 98 を「Windows 98」と表記します。また、これらを区別する必要のない場合は、総称して「Windows」と表記しています。
※ Microsoft、Windows は、米国マイクロソフト社の米国、およびその他の国における登録商標です。
※そのほか、本書で記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

お願い
※この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口までご連絡ください。
※お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
※この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
※付属品の形状が本書に記載の内容と多少異なることがあります。

安全にお使いいただくために

絵表示について　この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな絵表示をしています。その表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**　人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。

⚠ **注意**　人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

絵表示の意味　(絵表示の一例です。)

⚠ 記号は、**気を付ける**必要があることを表しています。

記号は、**してはいけない**ことを表しています。

記号は、**しなければならない**ことを表しています。

⚠ 警 告

電源コードを傷つけたり、重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。また、加工しないでください。電源コードを傷め、火災や感電の原因になります。

雷が鳴り始めたら、落雷による火災や感電を防ぐために、モニターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

発熱したり、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因になります。異常が起きたら、すぐにモニターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買いあげの販売店にご連絡ください。

風通しの悪い場所、ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気の当たる場所では使用しないでください。火災の原因になります。

水などの液体がかからないようにしてください。また、クリップやピンなどの異物が機械の中に入らないようにしてください。火災や感電の原因になります。

⚠ 警 告

アース接続してください。アース接続がされないで万一、故障した場合は感電のおそれがあります。

- アースリード線をコンセントの他の電極に挿入・接触させないでください。
- アース接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番が異なると感電の原因となります。

⚠ 注 意

ACアダプターおよび電源コードは、必ず付属のものを使用してください。付属以外のものを使用すると、火災の原因になることがあります。

ACアダプターの取り扱いにあたっては、次のことをお守りください。取り扱いを誤ると、火災や感電、けがの原因になることがあります。

- 落下させたり、衝撃を与えないでください。
- 絶対に分解しないでください。内部には高圧部分があり、触ると危険です。
- ACアダプターは屋内専用です。屋外では使用しないでください。

⚠注意

電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用してください。指定以外の電源を使用すると、火災の原因になることがあります。

電源プラグは、コンセントに直接差し込んでください。タコ足配線をすると、過熱により火災の原因になることがあります。

火災や感電を防ぐために、次のことをお守りください。

- ●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- ●夜間、旅行などで長時間使用しないときは、モニターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ●電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みがゆるく電源プラグがぐらついているときは、使用をやめて、お買いあげの販売店にご相談ください。

ぐらつく台の上や、不安定な場所に置かないでください。また、強い衝撃や振動を与えないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温になる場所で使用しないでください。発熱や発火の原因になることがあります。

硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。破損してけがの原因になることがあります。

あお向け、横倒し、逆さまにして使用しないでください。熱がこもり、発熱や発火の原因になることがあります。

⚠注意

改造や分解はしないでください。また、お客様による修理はしないでください。火災や感電、けがの原因になることがあります。

健康のために、次のことをお守りください。

- ●連続して使用する場合は、1時間ごとに10分から15分の休憩を取り、目を休ませてください。
- ●明暗の差が大きい所では使用しないでください。
- ●日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。

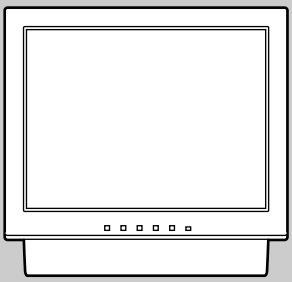
移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外してください。コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

年に一度を目安にモニター内部を清掃してください。(もよりのご相談窓口にご相談ください。)
内部にほこりがたまると、発熱や発火の原因になることがあります。

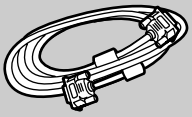
付属品の確認

付属品を確かめてください。
万一、不足のものがありましたら、お買いあげの販売店にご連絡ください。

モニター本体(1台)

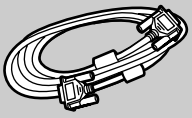


アナログ信号ケーブル(1本)

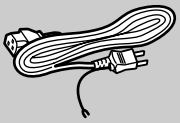


(ミニD-sub15ピン−ミニD-sub15ピン)

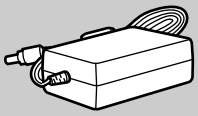
シリアル接続ケーブル(1本)



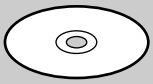
電源コード(1本)



ACアダプター(1個)

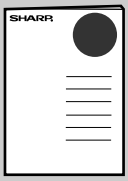


アプリケーション･ディスク(1枚)



ユーティリティー/
タッチパネルドライバ

取扱説明書(1部)

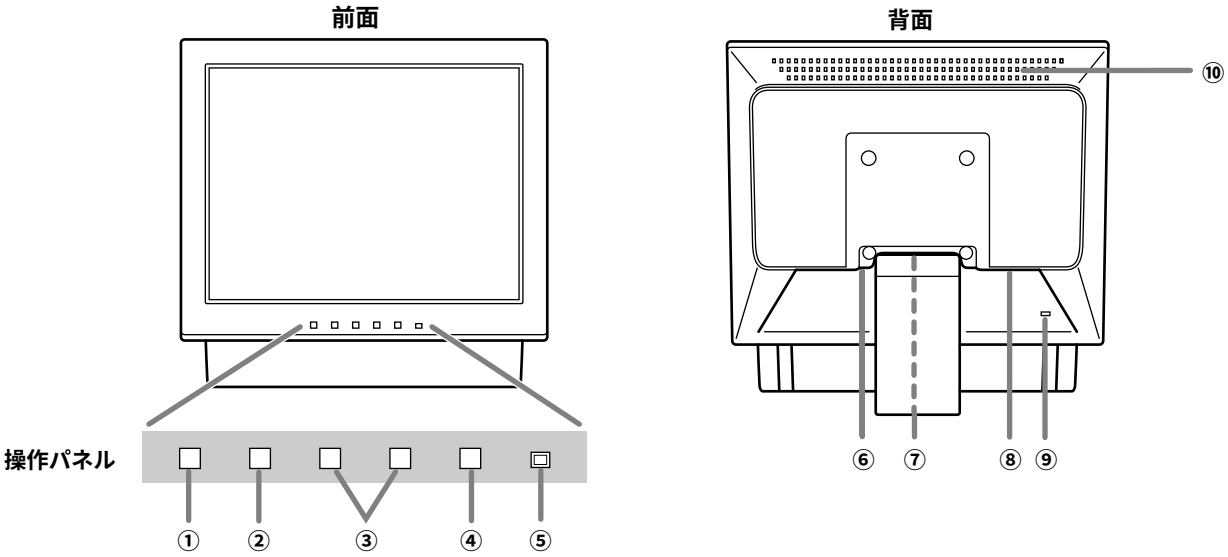


(本書)

保証書(1部)

※梱包箱は、輸送などに備えて保管しておいてください。
※アプリケーション・ディスク内のユーティリティープログラムの著作権は、シャープ(株)が保有しています。許可なく複製しないでください。
※タッチパネルドライバは、富士通コンポーネント株式会社開発のマウスエミュレーションソフトウェアです。タッチパネルドライバの著作権は、富士通コンポーネント株式会社に帰属します。

各部の名前とはたらき



① MENU ボタン ..... 調整メニューの表示、切り替え、消去を行います。
② ▼ / MODE ボタン ..... 調整メニューが表示されているときは、調整項目の選択に使います。
調整メニューが表示されていないときは、カラーモードを設定します。
③ ◀ ▶ ボタン ..... 調整メニューが表示されているときは、調整項目の選択や調整値の増減に使います。
調整メニューが表示されていないときは、バックライトの明るさを調整します。
④ 電源ボタン ..... ボタンを押して、電源の入 / 切を行います。
⑤ 電源ランプ ..... 通常表示時は緑色に、待機時はオレンジ色に点灯します。
⑥ 電源端子 ..... 付属の AC アダプターを接続します。
⑦ アナログ RGB 入力端子 ..... 付属のアナログ信号ケーブルを使って、コンピュータのアナログ RGB 出力端子と接続します。
⑧ シリアルコネクタ(タッチパネル用)..... 付属のシリアル接続ケーブルを使って、コンピュータのシリアルコネクタと接続します。
⑨ 盗難防止ホール ..... 市販の盗難防止ロックを接続すると、本体を持ち運べないように固定することができます。
※ 盗難防止ホールは、マイクロセーバーセキュリティシステムなどのセキュリティワイヤーに対応しています。
製品についてのお問い合わせ先は、以下のとおりです。
日本ポラデジタル株式会社
〒 104-0032　東京都中央区八丁堀 1-5-2　はごろもビル
Tel：03-3537-1070　　Fax：03-3537-1071　　URL：http://www.poladigital.co.jp
⑩ 通風孔 ..... 機器内部の熱を放出するためのものです。
※通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、故障の原因になります。

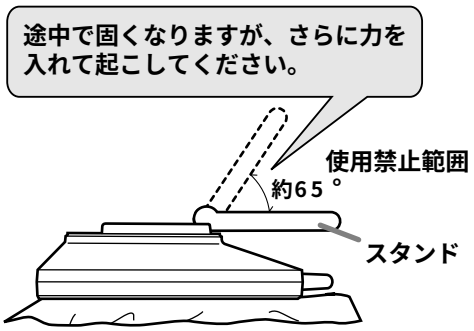
！ご注意

※スタンドを動かすときは、液晶パネルに触れないようご注意ください。液晶パネルに手を当てて力を加えると、破損の原因になります。

■スタンドの起こし方

1. 柔らかい布などを水平なところに敷き、表示部を下向きにして静かに置く。

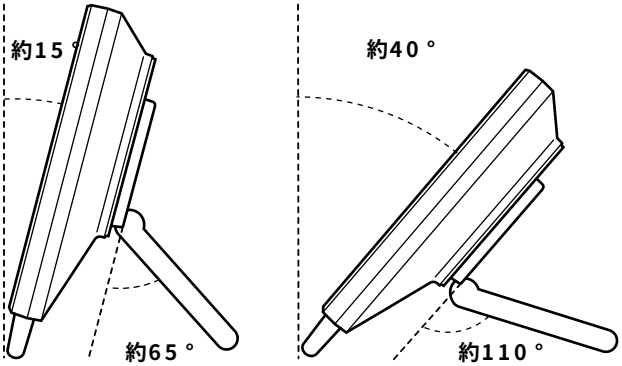
2. スタンドを約 65 ° まで起こす。



※使用禁止範囲内で使用すると、転倒の原因になります。

■角度調整

※表示部の傾きは約 15 ° ～約 40 ° の範囲で調整できます。



※スタンドは約 65 ° ～約 110 ° の範囲で使用してください。

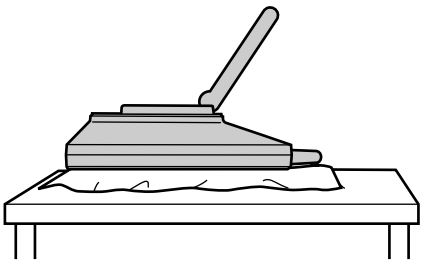
接続・電源入 / 切

！ ご注意

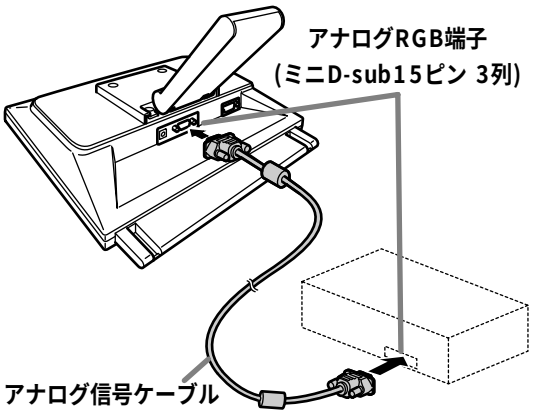
※接続は、モニターおよびコンピュータの電源を切った状態で行ってください。
※ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わらないようにしてください。断線などの原因になります。

コンピュータの接続

1. 柔らかい布などを水平なところに敷き、表示部を下向きにして静かに置く。



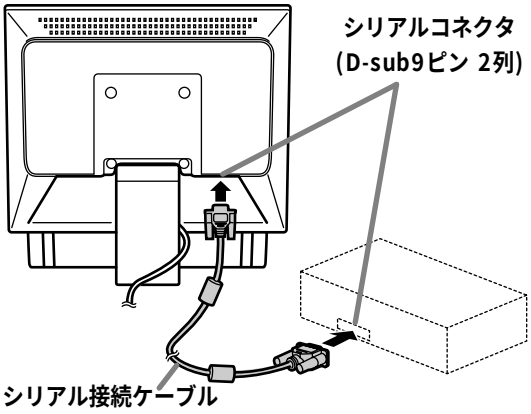
2. 付属のアナログ信号ケーブルを使って、コンピュータのアナログ RGB 出力端子と接続する。



※コネクタの向きを確かめて奥まで差し込んだ後、両側のネジで固定します。

シリアル接続ケーブルの接続(タッチパネル用)

タッチパネルを使用する場合は、付属のシリアル接続ケーブルでコンピュータのシリアルコネクタと接続します。



※コネクタの向きを確かめて奥まで差し込んだ後、両側のネジで固定します。

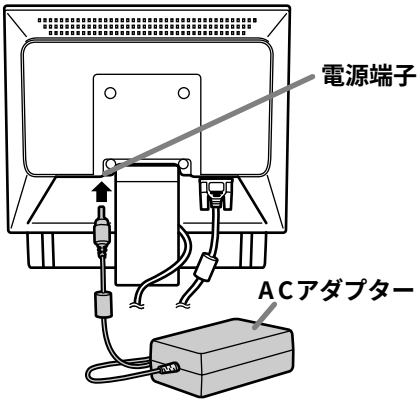
？ Memo

※タッチパネルを使用する前に、タッチパネルドライバをインストールする必要があります。(10 ページ)

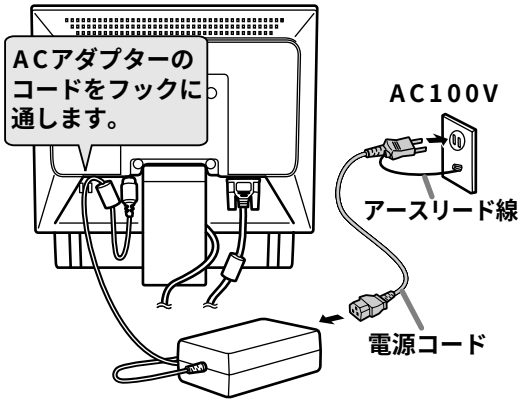
電源の接続

⚠ 注意 **電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用してください。**指定以外の電源を使用すると、火災の原因になることがあります。

1. 付属の AC アダプターを電源端子に接続する。



2. 付属の電源コードを AC アダプターに差し込み、電源プラグを AC100V のコンセントに差し込む。

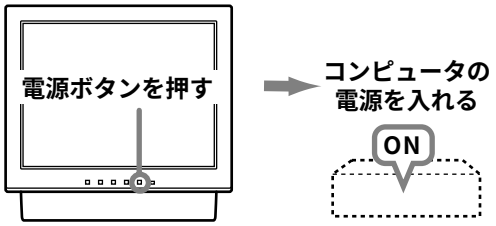


⚠ 警告 **アース接続してください。**アース接続がされないで万一、故障した場合は感電のおそれがあります。

- ●アースリード線をコンセントの他の電極に挿入・接触させないでください。
- ●アース接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番が異なると感電の原因となります。

電源の入れ方

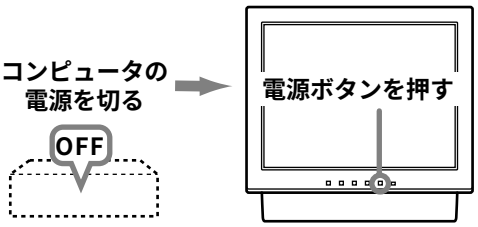
1. モニターの電源ボタンを押す。
2. コンピュータの電源を入れる。
電源ランプが緑色に点灯し、画面が表示されます。(電源を入れた後、画面が表示されるまでに少し時間がかかることがあります。)



※本機を初めて使用するときや、使用中のシステムの設定を変更したときは、画面の自動調整(13 ページ)を行ってください。
※お使いのコンピュータやＯＳによっては、接続先のコンピュータ側で本機のセットアップ情報のインストールが必要になる場合があります。(22 ページ)
※ノートパソコンと接続して、ノートパソコン画面と同時表示するように設定されていると、MS-DOS 画面が正しく表示できないことがあります。その場合は、本機のみの表示となるように設定してください。

電源の切り方

1. コンピュータの電源を切る。
2. モニターの電源ボタンを押す。
電源ランプが消灯します。



長時間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。

タッチパネルの使用準備

タッチパネルドライバのインストール

(対応 OS：Windows 98 / Me / 2000 / XP)

※タッチパネルドライバを正しく動作させるためには、Internet Explorer4.0 以上がインストールされていることが必要です。Internet Explorer4.0 以上をインストールしてから、タッチパネルドライバをインストールしてください。
※ Windows 98 や Windows Me では、お使いのコンピュータによっては、PS / 2 マウスを接続しない場合にタッチ操作ができなくなることがあります。
※タッチパネルドライバはそれぞれのポート(シリアルコネクタ)にインストールする必要があります。インストール後にポートを変更すると、タッチパネルドライバが動作しなくなることがあります。その場合は、そのポートでもう一度ドライバのインストールを行ってください。
※デバイスを接続するポート(シリアルコネクタ)を変更する場合は、コンピュータの電源を切った状態で行ってください。Plug and Play デバイスはインストールを行った直後に、コンピュータの電源が入ったままポートを付け替えると、システムに不具合が発生する場合があります。

CD-ROM ドライブを「D ドライブ」として説明します。

Windows 98 の場合

1. コンピュータ起動時に「不明なデバイス」が検出される。
2. 付属のアプリケーション・ディスクをコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。
3. 「次へ」をクリックする。
4. 検索方法を選択する画面で「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」をクリックする。
5. 「検索場所の指定」をチェックし、「D:￥TouchPanel￥Disk3」を指定する。
6. 「次へ」をクリックする。
7. 「F&T Touch Panel Driver」が見つかる。
8. 「次へ」をクリックする。インストールが始まります。
9. 「完了」をクリックする。
10. システムを再起動する。

Windows Me の場合

1. コンピュータ起動時に「不明なデバイス」が検出される。
2. 付属のアプリケーション・ディスクをコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。
3. 「ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)」を選択し、「次へ」をクリックする。
4. 検索方法を選択する画面で「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択する。
5. 「検索場所の指定」をチェックし、「D:￥TouchPanel￥Disk3」を指定する。
6. 「次へ」をクリックする。
7. 「F&T Touch Panel Driver」が見つかる。「次へ」をクリックする。
8. 「次へ」をクリックする。インストールが始まります。
9. 「完了」をクリックする。
10. システムを再起動する。

Windows 2000 の場合

1. コンピュータ起動時に「新しいハードウェアの検索ウィザード」が開始される。
2. 付属のアプリケーション・ディスクをコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。
3. 「次へ」をクリックする。
4. 検索方法を選択する画面で「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」を選択する。
5. 「次へ」をクリックする。
6. 「ディスク使用」をクリックする。
7. 「参照」をクリックし、「D:￥TouchPanel￥Disk1」を指定し、「OK」をクリックする。
8. 「Fujitsu Takamisawa Touch Panel Driver (Windows2000/XP)」が見つかる。「次へ」をクリックする。
9. 「次へ」をクリックする。
10. 「はい」をクリックする。インストールが始まります。
11. 「完了」をクリックする。

Windows XP の場合

1. コンピュータ起動時に「新しいハードウェアの検索ウィザード」が開始される。
2. 付属のアプリケーション・ディスクをコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。
3. 「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)」を選択する。
4. 「次へ」をクリックする。
5. 検索方法を選択する画面で「検索しないで、インストールするドライバを選択する。」を選択する。
6. 「次へ」をクリックする。
7. 「ディスク使用」をクリックする。
8. 「参照」をクリックし、「D:￥TouchPanel￥Disk1」を指定する。
9. 「OK」をクリックする。
10. 「Fujitsu Takamisawa Touch Panel Driver (Windows2000/XP)」が見つかる。
11. 「次へ」をクリックする。
12. 「続行」をクリックする。
    インストールが始まります。
13. 「完了」をクリックする。

※ Windows 2000 / XP において、自動で「標準シリアルマウス」がインストールされた場合、以下の手順を行ってください。
①付属のアプリケーション・ディスクをコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。
②「D:￥TouchPanel￥SetUp.exe」を実行する。
③「2,Plug and Play Device」を選択する。
④「OK」をクリックする。
⑤「続行」をクリックする。
インストールが始まります。
⑥インストールの正常終了が通知されたら、「OK」をクリックする。
※手順③で「1,Non Plug and Play Device」を選択し、手順④で「OK」をクリックした場合、「Disk2 を入れてください。」のメッセージが表示されます。「いいえ」をクリックして最初から操作をやり直してください。(本機では「1,Non Plug and Play Device」はサポートしていません。)

タッチパネルドライバの削除

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を開く。
2. 「アプリケーションの追加と削除」または「プログラムの追加と削除」をダブルクリックする。
3. リスト上のタッチパネルドライバを選択する。
   Windows 98 / Me の場合
   :「F&T Touch Panel Driver」
   Windows 2000 / XP の場合
   :「Fujitsu Takamisawa Touch Panel Driver (Windows2000/XP)」
4. 「追加と削除」をクリックする。
   削除確認のダイアログボックスが表示されます。
5. 「はい」をクリックする。
   ドライバが削除されます。
6. システムを再起動する。

タッチパネルの設定

※ タッチパネルドライバをインストールすると、コントロールパネルに「タッチパネル」が登録されます。「タッチパネル」をダブルクリックすると、タッチパネルの詳細な設定を行うことができます。
※ タッチパネルの設定方法について詳しくは、付属のアプリケーション・ディスク内の「Serial RTP driver manual.pdf」を参照してください。
(本機は Windows 98 / Me / 2000 / XP 用の PNP タッチパネルで、NonPNP タッチパネルには対応していません。該当する箇所をお読みください。)

タッチパネルの操作について

タッチパネル上は、指先で操作してください。
※爪、ペン、鉛筆などの硬いもので入力しないでください。

? Memo

※指以外の柔らかいものが触れても入力されることがあります。
※接触面積が大きい場合(手のひらで押すなど)、正しく入力できないことがあります。
※コンピュータがシステムスタンバイ状態のときに、タッチパネルを押しても復帰できない場合があります。その場合は、マウスやキーボードをご使用ください。

画面調整

画面調整について

バックライトの明るさ調整(次ページ)
　バックライトの明るさを調整します。
カラーモードの設定(次ページ)
　表示の色合いを設定します。
画面自動調整(13 ページ)
　クロック、フェーズ、水平位置、垂直位置を自動的に調整します。
画面手動調整(14 ページ)
　用意されている調整メニューを利用して、画面の調整をします。

? Memo

※調整内容は、電源を切っても保持されます。

■調整値のオールリセット

すべての調整値を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. モニターの電源を切る。
2. MENU ボタンと ▼ / MODE ボタンの両方を押しながら、電源ボタンを押す(電源を入れる)。
　画面に「オールリセット中」と表示されるまで押し続けてください。メッセージの表示が消えると、リセットは完了です。

? Memo

※「オールリセット中」の表示中は、操作ボタンは効きません。
※調整ロックかボタンロックが設定されている場合、オールリセットはできません。ロックを解除してから操作してください。

■画面調整メニューのリセット

画面調整メニュー(クロック、フェーズ、水平位置、垂直位置)の調整値を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. モニターの電源を入れる。
2. MENU ボタンと ◀ ボタンの両方を押す。
　画面に「リセット中」と表示されて、リセットが完了します。

? Memo

※調整ロックかボタンロックが設定されている場合、リセットはできません。ロックを解除してから操作してください。

■調整ロック機能

電源ボタン以外の操作ボタンを効かなくして(ロック設定)、調整後の内容の変更を防ぐことができます。

1. モニターの電源を切る。
2. MENU ボタンを押しながら、電源ボタンを押す(電源を入れる)。
　画面に「調整ロック設定中」と表示されるまで、ボタンを押し続けてください。表示されたらロック設定は完了です。

調整ロックの解除

1. モニターの電源を切る。
2. MENU ボタンを押しながら、電源ボタンを押す(電源を入れる)。
　画面に「調整ロックを解除します」と表示されるまで、ボタンを押し続けてください。表示されたらロック解除は完了です。

■ボタンロック機能

すべての操作ボタンを効かなくして(ロック設定)、電源が切られたり、調整後の内容が変更されたりするのを防ぐことができます。

1. モニターの電源を切る。
2. MENUボタンと ▼ / MODEボタン、◀ ボタンの3 つのボタンを同時に押しながら、電源ボタンを押す(電源を入れる)。
　画面に「ボタンロック設定中」と表示されるまで、ボタンを押し続けてください。表示されたらロック設定は完了です。

ボタンロックの解除

電源を入れた状態で操作します。

1. MENUボタンと ▼ / MODEボタン、◀ ボタンの3 つのボタンを同時に押しながら、電源ボタンを押す。
　電源が切れたらロック解除は完了です。

バックライトの明るさ調整

1. 調整メニューが表示されていない状態で、◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押す。

2. ◀ ボタン(暗くする)、▶ ボタン(明るくする)を押して調整する。
調整用の表示は、最後のボタン操作から数秒後に自動的に消えます。

カラーモードの設定

表示の色合いを設定することができます。
標準 …… 液晶モニター本来の色合いを生かした表示になります。
あざやか … 原色をダイナミックに表示します。

※「あざやか」に設定すると、調整メニューの「色温度」は「標準」になります。

設定方法
調整メニューが表示されていない状態で、▼ / MODE ボタンを押します。ボタンを押すごとに、「標準」と「あざやか」が切り替わります。
設定用の表示は、最後のボタン操作から数秒後に自動的に消えます。

画面の自動調整

画面調整メニューのクロック、フェーズ、水平位置、垂直位置を自動的に調整します。

? Memo

※本機を初めて使用するときや、使用中のシステムの設定を変更したときは、ご使用の前に自動調整を行ってください。

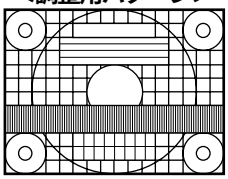
■自動調整のための画面表示について

付属のアプリケーション・ディスクの調整用パターンを利用して、画面の自動調整を行います。
調整用パターンを利用しない場合は、画面全体が明るくなるような画像を用意してください。

【調整用パターンの呼び出し方】
CD-ROM ドライブを「D ドライブ」として説明します。

1. 付属のアプリケーション・ディスクをコンピュータの D ドライブにセットする。
2. 「マイコンピュータ」の CD-ROM を開く。
3. 「Adj_uty.exe」をダブルクリックして、調整用プログラムを起動する。
調整用パターンが表示されます。

＜調整用パターン＞



調整終了後は、コンピュータの[ESC]キーを押して、調整用プログラムを終了してください。

? Memo

※使用するコンピュータの表示モードが 6 万 5 千色の場合、カラーパターンの各色の階調が異なって見えたり、グレースケールが色付きに見えることがあります。(入力信号の仕様によるもので、故障ではありません。)

■自動調整のしかた

1. MENU ボタンを押す。

画面調整メニューが表示されます。

2. ▶ ボタンを押して、「自動調整」を選択する。

画面が黒くなり、「自動調整中」と表示され、数秒後に画面調整メニューに戻ります。
(これで自動調整は完了です。)

3. MENU ボタンを 4 回押して、調整メニューを消す。

? Memo

※通常は、自動調整だけでご使用いただけます。
※ 1 回の自動調整では、正しく調整できないことがあります。その場合は、自動調整を 2 ～ 3 回繰り返してみてください。
※自動調整後、次のような場合は必要に応じて手動調整を行ってください。(右記)
- さらに微調整が必要なとき
- 「自動調整できませんでした」と表示されたとき
(画面全体が極端に暗い場合など、表示中の内容によっては自動調整ができないことがあります。再度、自動調整をする場合は、調整用パターンを利用するか、画面全体が明るくなるような画像に変えてみてください。)
- コンピュータからの信号がコンポジット・シンクやシンク・オン・グリーンのときなど(自動調整では正しく調整できないことがあります。)

※動画や MS-DOS プロンプトなど、画面によっては自動調整が正しく行われないことがあります。

画面の手動調整

用意されている調整メニューを利用して、画面の調整をします。

1. 付属のアプリケーション・ディスクから調整用パターンを呼び出す。(13 ページ)

調整用パターンを利用しない場合は、画面全体が明るくなるような画像を用意してください。

2. MENU ボタンを押す。

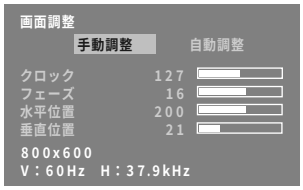
画面調整メニューが表示されます。

以降、必要な項目を調整します。
MENU ボタンを押すごとに、次のメニューに切り替わります。(画面調整→映像調整→色温度→モード選択→メニュー表示消)

? Memo

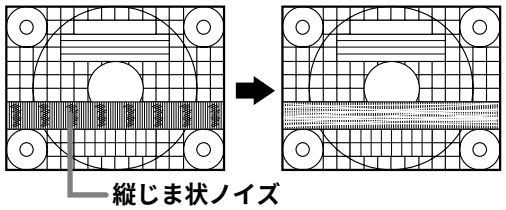
※調整メニューは、最後のボタン操作から約 30 秒後に自動的に消えます。
※本書では、調整用パターンを利用した調整のしかたを基本に説明します。

画面調整メニュー

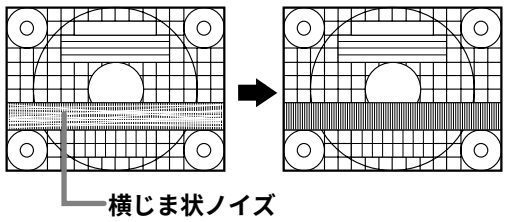


手動調整..... 必要な項目を手動で調整します。
自動調整..... 各項目を自動的に調整します。
※▶ ボタンを押すと､「自動調整」の選択になります。
※項目の選択　　：▼ / MODEボタン
※次のメニューへ：MENU ボタン

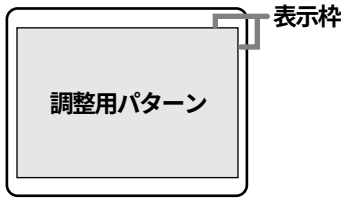
クロック
下図の部分に縦じま状のノイズが出ないように調整します。(◀ ▶ ボタン)



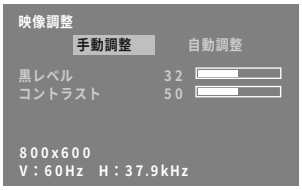
フェーズ
下図の部分に横じま状のノイズが出ないように調整します。(◀ ▶ ボタン)
※「フェーズ」の調整は、必ず「クロック」を正しく調整した後で行ってください。



水平位置、垂直位置
調整用パターンの全体が画面内に表示されるように、左右(水平位置)、上下(垂直位置)の位置を調整します。(◀ ▶ ボタン)



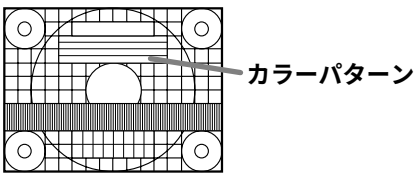
映像調整メニュー



手動調整..... 必要な項目を手動で調整します。
自動調整..... オートゲインコントロール機能 * で自動調整します。自動調整後、必要に応じて手動調整してください。
※▶ ボタンを押すと､「自動調整」の選択になります。
※項目の選択　　：▼ / MODEボタン
※次のメニューへ：MENU ボタン

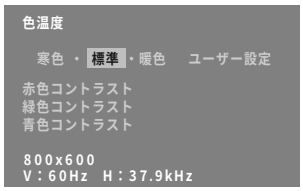
*** オートゲインコントロール機能**
※画面に表示中の最も明るい色と最も暗い色を基準に、黒レベル、コントラストが調整されます。調整用パターンを利用しないときは、5mm × 5mm 以上の白色と黒色が表示されている必要があり、表示がない場合は正しく調整できないことがあります。
※コンピュータからの信号がコンポジット・シンクやシンク・オン・グリーンのときは、自動調整ができないことがあります。その場合は手動で調整してください。
※「自動調整できませんでした」と表示されたときは、手動調整を行ってください。

黒レベル
カラーパターンを見ながら、画面全体の明るさを調整します。(◀ ▶ ボタン)



コントラスト
カラーパターンを見ながら、すべての階調が表示されるように調整します。(◀ ▶ ボタン)

色温度メニュー



※「標準」以外では、すべての階調を表示することはできません。すべての階調を表示したいときは「標準」に設定してください。
※カラーモードが「あざやか」の場合、「標準」以外に設定することはできません。
※◀ ▶ ボタンで「寒色」「・」「標準」「・」「暖色」「ユーザー設定」を選びます。
※「ユーザー設定」を選ぶと、「赤色コントラスト」、「緑色コントラスト」、「青色コントラスト」の設定値が表示され、微調整ができます。
※ ▼ / MODE ボタンで「赤色コントラスト」「緑色コントラスト」「青色コントラスト」を選びます。
※次のメニューへ：MENU ボタン

寒色 ..... 標準設定よりも青みがかった色合い
- ..... 標準設定よりもやや青みがかった色合い

標準 ..... 標準設定
- ..... 標準設定よりもやや赤みがかった色合い

暖色 ..... 標準設定よりも赤みがかった色合い

ユーザー設定

赤色コントラスト .....◀ ボタンで青緑色、
▶ ボタンで赤色

緑色コントラスト .....◀ ボタンで紫色、
▶ ボタンで緑色

青色コントラスト .....◀ ボタンで黄色、
▶ ボタンで青色

モード選択メニュー

※入力信号の解像度によっては、項目の選択ができても、表示状態が変わらないことがあります。
※項目の選択：▼ / MODE ボタン
※調整終了 ：MENU ボタン

OSD 画面水平位置
調整メニューの表示位置を左右に動かします。
(◀ ▶ ボタン)

OSD 画面垂直位置
調整メニューの表示位置を上下に動かします。
(◀ ▶ ボタン)

拡大補正レベル
画像を拡大表示したときの補正レベルを選択することができます。(◀ ▶ ボタン)
※ 800 × 600 ドット未満の表示モードの画面を表示させた場合、画面全体に拡大表示されます。(アスペクト比(縦横比)が変わることがあります。)

表示色数
最大表示色数を設定します。(◀ ▶ ボタン)
260K ：約 26 万色
16M ：約 1619 万色

OSD 言語選択
調整メニューの言語を変更することができます。
1) ▶ ボタンを押す。
言語選択メニューが表示されます。
2) ▼ / MODE ボタンで言語を選択する。
3) MENU ボタンを押す。
モード選択メニューに戻ります。

お手入れ・保管・アフターサービスについて

お手入れのしかた

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

■キャビネットや操作パネル部分

キャビネットや操作パネル部分の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、柔らかい布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから汚れをふき取ってください。

■タッチパネル部分

タッチパネルの表面の汚れやホコリは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。(レンズクリーナーやガーゼなどの柔らかい布でもかまいません。)

！ ご注意

※キャビネットや操作パネル部分の清掃時は、シンナー、ベンジン、アルコール、ガラスクリーナーなどを絶対に使用しないでください。変色や変形の原因になります。
※硬いものでこすったり、強い力を加えないでください。傷が付いたり、故障の原因になります。

？ Memo

※本機で使用している蛍光管には水銀が含まれています。本機を廃棄するときは、地方自治体の条例・規則に従ってください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。

保管にあたって

長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

！ ご注意

※ゴム製品やビニール製品などと長時間接触させないでください。変色や変形の原因になります。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。それでも正常に動かないときは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご連絡ください。

本機で使用している蛍光管には寿命があります。

※画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、専用の蛍光管ユニットの交換が必要です。お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
(ご自分での交換は絶対にしないでください。)
※ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面がチラつくことがあります(故障ではありません)。
その場合は、いったん電源を切り、電源を入れ直してご確認ください。

画面に何も表示されない(電源ランプ消灯)

※ＡＣアダプターや電源コードは正しく接続されていますか。(9 ページ)

画面に何も表示されない(電源ランプ点灯)

※コンピュータと正しく接続されていますか。(8 ページ)
※コンピュータの電源は入っていますか。
※コンピュータの信号タイミングが本機の仕様に合っていますか。(21 ページ)
※コンピュータの省電力機能が動作していませんか。キーボードのキーを押すか、マウスを動かしてみてください。

画面が乱れている

※コンピュータの信号タイミングが本機の仕様に合っていますか。(21 ページ)
※画面自動調整を行ってください。(13 ページ)

操作ボタンが効かない

※調整ロックかボタンロックが設定されていませんか。(12 ページ)

電源が切れない

※ボタンロックが設定されていませんか。(12 ページ)

タッチパネルで入力できない

※シリアル接続ケーブルが正しく接続されていますか。(8 ページ)
※タッチパネルドライバがインストールされていますか。(10 ページ)
※接触面積が大きい場合(手のひらで押すなど)、正しく入力できないことがあります。

アフターサービスについて

■製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売窓口にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
保証期間はお買いあげの日から１年間です(ただし、光源の蛍光管は消耗品ですので、保証の対象になりません)。保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
保証期間後の修理は、お買いあげの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

■補修用性能部品について

当社は、この液晶モニターの補修用性能部品を製造打切後、7 年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

■修理を依頼されるときは

先に｢故障かな?と思ったら｣をお読みのうえ、もう一度お調べください。
それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にこの製品を**｢お持ち込み｣**のうえ、修理をお申し付けください。
ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。
アフターサービスについてわからないことは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お客様ご相談窓口のご案内(次ページ)

お客様ご相談窓口のご案内

シャープ製品の修理・お取り扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店もしくは下記のご相談窓口へご連絡ください。
※電話番号、所在地などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。(2003年3月現在)

修理ご相談窓口

シャープドキュメントシステム株式会社

＜受付時間＞　月曜日～土曜日：午前9時～午後5時40分（日曜日・祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

北海道
札幌技術センター　(011)641-0751
〒063-0801　札幌市西区二十四軒1条7-3-17
釧路　(0154)24-8191
〒085-0051　釧路市光陽町8-13
函館　(0138)52-5190
〒040-0001　函館市五稜郭町31-17
帯広　(0155)21-2881
〒080-0011　帯広市西1条南26丁目19-1
旭川技術センター　(0166)22-8284
〒070-0031　旭川市1条通4-左10
北見　(0157)36-6814
〒090-0836　北見市三輪435番地

青森
青森技術センター　(017)738-7778
〒030-0121　青森市妙見3-3-4
八戸　(0178)45-2631
〒031-0802　八戸市小中野2-8-16

岩手
岩手技術センター　(019)638-6085
〒020-0891　紫波郡矢巾町流通センター南3-1-1

秋田
秋田技術センター　(018)865-1258
〒010-0941　秋田市川尻町字大川反170-56

宮城
仙台技術センター　(022)288-9161
〒984-0002　仙台市若林区卸町東3-1-27
シャープ事務機山形販売(株)　(023)633-3215
〒990-8668　山形市流通センター1丁目9-2

福島
福島技術センター　(024)946-0196
〒963-0111　郡山市安積町荒井字方八丁33-1
いわき　(0246)28-2487
〒970-8033　いわき市自由ケ丘37-10

新潟
新潟技術センター　(025)284-6023
〒950-0993　新潟市上所中1-7-21
長岡　(0258)23-1850
〒940-1104　長岡市摂田屋町字崩2600

栃木
宇都宮技術センター　(028)634-0256
〒320-0833　宇都宮市不動前4-2-41

群馬
前橋技術センター　(027)252-7311
〒371-0855　前橋市問屋町1-3-7

茨城
水戸技術センター　(029)243-0909
〒310-0851　水戸市千波町1963

埼玉
出張修理受付窓口　(03)5711-8100
（首都圏の集中修理受付窓口です）
埼玉技術センター　(048)666-7148
〒330-0038　さいたま市宮原町2-107-2
埼玉西技術センター　(049)285-7294
〒350-2211　鶴ヶ島市脚折町3-11-4
埼玉東技術センター　(048)979-6459
〒343-0804　越谷市大字南萩島346-1

千葉
出張修理受付窓口　(03)5711-8100
（首都圏の集中修理受付窓口です）
千葉技術センター　(043)299-8855
〒261-8520　千葉市美浜区中瀬1-9-2
西千葉技術センター　(047)368-8346
〒270-2231　松戸市稔台295-1

東京
出張修理受付窓口　(03)5711-8100
（首都圏の集中修理受付窓口です）
ドキュメントサービス部第1地区　(03)3829-6951
〒130-8610　東京都墨田区石原2-12-3
ドキュメントサービス部第2地区　(03)3260-5253
〒162-8408　東京都新宿区市谷八幡町8
ドキュメントサービス部第3地区　(03)3777-0850
〒143-0025　東京都大田区南馬込1-5-15
東京第1技術センター　(03)3624-7476
〒130-8610　東京都墨田区石原2-12-3
東京第2技術センター　(03)3973-7789
〒174-0074　東京都板橋区東新町1-33-11
西東京技術センター　(042)583-1993
〒191-0003　日野市日野台5-5-4

山梨
山梨　(055)228-3833
〒400-0049　甲府市富竹2-1-17

神奈川
出張修理受付窓口　(03)5711-8100
（首都圏の集中修理受付窓口です）
横浜技術センター　(045)753-9540
〒235-0036　横浜市磯子区中原1-2-23
相模原　(045)753-9540
〒229-1122　相模原市横山2-2-12
湘南技術センター　(045)753-9540
〒254-0013　平塚市田村1381

長野
松本技術センター　(0263)27-1636
〒399-0002　松本市芳野8-14
長野技術センター　(026)293-6360
〒388-8014　長野市篠ノ井塩崎東田沢6877-1

富山
富山技術センター　(076)451-3933
〒930-0997　富山市新庄北町5-63

石川
金沢技術センター　(076)249-9033
〒921-8801　石川郡野々市町御経塚4-103

福井
福井　(0776)53-6050
〒918-8206　福井市北四ツ居町625
シャープ事務機福井販売(株)　(0776)27-1800
〒910-0067　福井市新田塚1-70-26

岐阜
岐阜技術センター　(058)274-7996
〒500-8358　岐阜市六条南3-12-9

静岡
静岡技術センター　(0543)443-5621
〒424-0067　清水市鳥坂1170
沼津　(055)924-1028
〒410-0062　沼津市宮前町11-4
浜松技術センター　(053)465-0735
〒430-0803　浜松市植松町1476-2

愛知
ドキュメントサービス部　(052)332-2748
〒454-0011　名古屋市中川区山王3-5-5
名古屋技術センター　(052)332-2758
〒454-0011　名古屋市中川区山王3-5-5
豊橋技術センター　(0532)54-1830
〒440-0086　豊橋市下地町橋口17-1
岡崎　(0564)25-0611
〒444-0065　岡崎市柿田町1-21

三重
三重技術センター　(059)231-1573
〒514-0102　津市栗真町屋町字蒲池328

京都
京都技術センター　(075)681-9551
〒601-8102　京都市南区上鳥羽菅田町48
北近畿　(0773)23-6996
〒620-0054　福知山市末広町6-13

滋賀
滋賀技術センター　(077)543-2331
〒520-2151　大津市栗林町11-35

大阪
ドキュメントサービス部　(06)6794-6901
〒547-8510　大阪市平野区加美南3-7-19
大阪技術センター　(06)6796-5430
〒547-8510　大阪市平野区加美南3-7-19
堺技術センター　(072)245-5855
〒590-0824　堺市老松町1-39
北大阪技術センター　(072)634-4683
〒567-0831　茨木市鮎川5-15-3

兵庫
神戸技術センター　(078)452-1762
〒658-0082　神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
阪神技術センター　(06)6421-2304
〒661-0981　尼崎市猪名寺3-2-10
姫路技術センター　(0792)66-8295
〒671-2222　姫路市青山5-7-7

奈良
奈良技術センター　(0743)53-2023
〒639-1103　大和郡山市美濃庄町492

和歌山
和歌山技術センター　(073)445-6298
〒641-0031　和歌山市西小二里2-4-91

島根
松江技術センター　(0852)21-6110
〒690-0017　松江市西津田3-1-10

鳥取
鳥取　(0857)26-4227
〒680-0802　鳥取市青葉町2-204

岡山
岡山技術センター　(086)292-5830
〒701-0301　都窪郡早島町大字矢尾828

広島
広島技術センター　(082)874-6100
〒731-0113　広島市安佐南区西原2-13-4
東広島　(0824)28-3065
〒739-0142　東広島市八本松東4-3-30
福山技術センター　(084)952-0736
〒720-0841　福山市津之郷町大字津之郷272-1

山口
山口技術センター　(083)972-4525
〒754-0024　吉敷郡小郡町若草町4-12

香川
高松技術センター　(087)823-4980
〒760-0065　高松市朝日町6-2-8

徳島
徳島　(088)625-8840
〒770-0813　徳島市中常三島町3-11-14

高知
高知　(088)883-7039
〒781-8104　高知市高須1-14-43

愛媛
松山技術センター　(089)973-0121
〒791-8036　松山市高岡町178-1

福岡
福岡技術センター　(092)572-2617
〒816-0081　福岡市博多区井相田2-12-1
南福岡技術センター　(0942)45-4551
〒839-0812　久留米市山川安居野3-12-47
北九州技術センター　(093)592-6510
〒803-0814　北九州市小倉北区大手町6-12

大分
大分技術センター　(097)552-2164
〒870-0913　大分市松原町3-5-3

長崎
長崎技術センター　(0957)53-3858
〒856-0817　大村市古賀島町613-3

熊本
熊本技術センター　(096)372-1251
〒862-0975　熊本市新屋敷3-15-17

鹿児島
鹿児島技術センター　(099)259-0628
〒890-0064　鹿児島市鴨池新町12-1

宮崎
宮崎　(0985)28-8371
〒880-0007　宮崎市原町4-12

沖縄
沖縄シャープ電機(株)　(098)861-0866
〒900-0002　那覇市曙2-10-1

シャープ製品に対するご意見・ご要望やお問い合わせは、下記ご相談窓口へ

お客様相談センター（一般ご相談窓口）

シャープ株式会社

＜受付時間＞※月曜日～土曜日：午前9時～午後6時　※日曜日・祝日：午前10時～午後5時 (年末年始を除く)

東日本相談室　電話 (043)299-8021　FAX 043-299-8280　〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2

西日本相談室　電話 (06)6794-8021　FAX 06-6792-5993　〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

仕　様

■製品仕様

液晶表示素子
12.1 型(対角 31cm) TFT カラー液晶

最大解像度
SVGA 800 × 600

最大表示色
約 1619 万色(6 ビット＋ FRC)
※ FRC : Frame Rate Control

最大輝度
280cd / m^2

画素ピッチ
水平 0.3075mm ×垂直 0.3075mm

コントラスト比
350：1

視野角
左右 120 ° / 上下 90 ° (コントラスト比 ≧ 10)

表示画面サイズ
横 246.0mm ×縦 184.5mm

映像入力信号
アナログ RGB(0.7Vp-p)[75 Ω]

同期入力信号
水平 / 垂直セパレート(TTL：正 / 負)
シンク・オン・グリーン
コンポジット・シンク(TTL：正 / 負)

拡大補正
デジタルスケーリング(VGA などを SVGA に補正して拡大表示)　[全画面]

プラグ＆プレイ
VESA　DDC1/DDC2B 対応

パワーマネージメント
VESA　DPMS 準拠

コンピュータ信号入力端子
ミニ D-sub15 ピン(3 列)

画面角度調整
チルト：上向きに約 15 ° ～約 40 °

タッチパネル方式
抵抗膜方式

タッチパネル透過率
約 80%

タッチパネル PC 接続端子
シリアルコネクタ　D-sub9 ピン(2 列)

電源
AC100V　50 / 60Hz　(専用 AC アダプター使用)

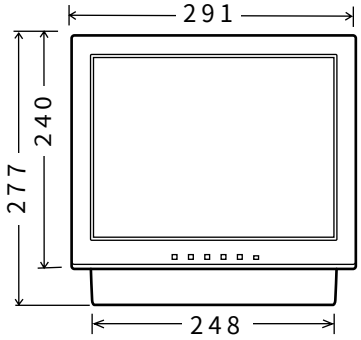
使用温度条件
5 ～ 35℃　(結露なきこと)

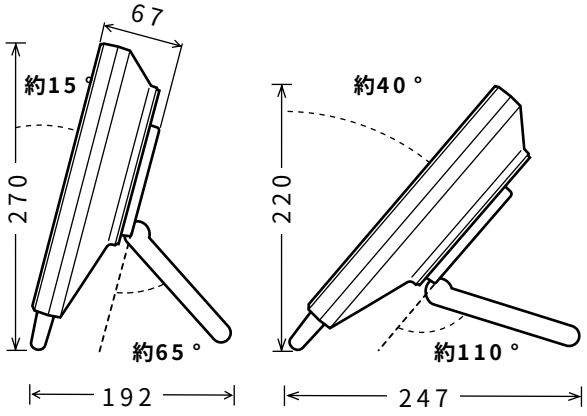
消費電力
最大 16W(待機時 2W)(専用 AC アダプター使用)

外形寸法
幅約 291mm ×奥行約 192 ～ 247mm ×
高さ約 220 ～ 270mm

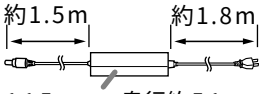
質量
約 2.7kg(AC アダプター、電源コード、ケーブル含まず)
約 2.3kg(ディスプレイ部のみ)

■外形寸法図　(単位：約 mm)





付属ケーブルの長さ
アナログ信号ケーブル：約2.0m
シリアル接続ケーブル：約2.0m
専用ACアダプターと電源コード：



幅約115mm×奥行約51mm×高さ約32mm

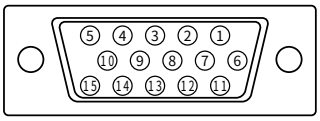
■対応信号タイミング

表示モード		水平周波数	垂直周波数	ドット周波数
VESA ・IBM AT 互換機	640×480	31.5kHz	60Hz	25.175MHz
	800×600	37.9kHz	60Hz	40.0MHz

※推奨解像度は、800 × 600 です。
※すべてノンインターレースのみの対応です。
※本機で対応していない信号タイミングが入力された場合、「入力信号が対応範囲外です」と表示されます。その場合は、お使いのコンピュータの取扱説明書にもとづき、本機で対応している信号タイミングに設定してください。
※本機に何も信号(同期信号)が入力されない場合、「入力信号がありません」と表示されます。

■アナログ信号入力端子のピン配列

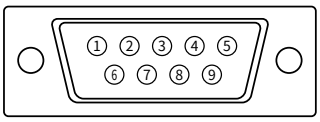
(ミニD-sub15ピン)



番号	機　能	番号	機　能
1	赤映像信号入力	9	+5V
2	緑映像信号入力	10	GND
3	青映像信号入力	11	N.C.
4	GND	12	DDCデータ
5	GND	13	水平同期信号用入力
6	赤映像信号用GND	14	垂直同期信号用入力
7	緑映像信号用GND	15	DDCクロック
8	青映像信号用GND		

■シリアルコネクタのピン配列

(D-sub9ピン)



番号	機　能	番号	機　能
1	未使用	6	データセット出力
2	送信データ出力	7	送信要求入力
3	受信データ入力	8	未使用
4	データ端末レディ入力	9	未使用
5	GND		

■パワーマネージメント

本機は、VESA DPMS、Energy Starに準拠しています。
本機のパワーマネージメント機能を動作するためには、ビデオカードやコンピュータも同規格に適合している必要があります。

DPMS (Display Power Management Signaling)

DPMSモード	画面	消費電力	水平同期	垂直同期
ON STATE	表示	16W	あり	あり
STANDBY	無表示	2W	なし	あり
SUSPEND			あり	なし
OFF STATE			なし	なし

Energy Star

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。
『国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマークは参加各国の間で統一されています。』

■ DDC(プラグ＆プレイ)

本機は、VESA の DDC(Display Data Channel)規格をサポートしています。
DDC とは、モニターとパソコンのプラグ＆プレイを行うための信号規格です。モニターとパソコンの間で解像度などに関する情報を受け渡しします。この機能は、パソコンが DDC に対応しており、プラグ＆プレイモニターを検出する設定になっている場合に使用できます。
DDC には、通信方式の違いによりいくつかの種類があります。本機は、DDC1 と DDC2B に対応しています。

セットアップ情報について(Windows)

お使いのコンピュータやＯＳによっては、コンピュータ側で本機のセットアップ情報のインストールが必要になることがあります。その場合は、下記の手順でセットアップ情報をインストールしてください。(お使いのコンピュータや OS によっては、名称・操作方法が異なることがあります。コンピュータの取扱説明書と併せてお読みください。)

■セットアップ情報のインストール

Windows 98 の場合

Windows 98 に本機のセットアップ情報をインストールします。
CD-ROM ドライブを「D ドライブ」として説明します。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合】

1. 付属のアプリケーション・ディスクをコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。
2. 「次へ」をクリックする。
3. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
4. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「配布ファイルのコピー元」を「D:\」にして「OK」をクリックする。
5. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
   新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合は、もう一度 2. から操作してください。
6. CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出す。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されなかった場合】

1. 付属のアプリケーション・ディスクをコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」、「詳細」、「モニタ」の順にクリックする。
5. 「オプション」内の「プラグ アンド プレイ モニタを自動的に検出する」をチェックし、「変更」をクリックする。
6. 「次へ」をクリックする。
7. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「配布ファイルのコピー元」を「D:\」にして「OK」をクリックする。
9. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
10. 本機が表示されていることを確認し、「適用」をクリックする。
11. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
12. CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出す。

Windows 2000 の場合

Windows 2000 に本機のセットアップ情報をインストールします。
CD-ROM ドライブを「D ドライブ」として説明します。

1. 付属のアプリケーション・ディスクをコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」、「詳細」、「モニタ」の順にクリックする。
5. 「プロパティ」、「ドライバ」、「ドライバの更新」の順にクリックする。
6. 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始」が表示されたら「次へ」をクリックする。
7. 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「製造元のファイルのコピー元」を「D:\」にして「OK」をクリックする。
9. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」をクリックする。
10. 「次へ」をクリックし、モニタ名に本機が表示されていることを確認し、「完了」をクリックする。
「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示された場合は、「はい」をクリックしてください。
11. 「閉じる」をクリックして、「画面のプロパティ」を閉じる。
12. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
13. CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出す。

Windows Me の場合

Windows Me に本機のセットアップ情報をインストールします。
CD-ROM ドライブを「D ドライブ」として説明します。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合】

1. 付属のアプリケーション・ディスクをコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。
2. 「ドライバの場所を指定する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
3. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
4. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「製造元ファイルのコピー元」を「D:\」にして「OK」をクリックする。
5. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合は、もう一度 2. から操作してください。
6. CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出す。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されなかった場合】

1. 付属のアプリケーション・ディスクをコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」、「詳細」、「モニタ」の順にクリックする。
5. 「オプション」内の「プラグ アンド プレイ モニタを自動的に検出する」をチェックし、「変更」をクリックする。
6. 「ドライバの場所を指定する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
7. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「製造元ファイルのコピー元」を「D:\」にして「OK」をクリックする。
9. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
10. 本機が表示されていることを確認し、「適用」をクリックする。
11. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
12. CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出す。

セットアップ情報について(Windows)

Windows XP の場合

Windows XP に本機のセットアップ情報をインストールします。
CD-ROM ドライブを「D ドライブ」として説明します。

1. 付属のアプリケーション・ディスクをコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」を選ぶ。
3. クラシック表示にする。
4. 「画面」をダブルクリックする。
5. 「設定」、「詳細設定」、「モニタ」の順にクリックする。
6. 「プロパティ」、「ドライバ」、「ドライバの更新」の順にクリックする。
7. ハードウェアの更新ウィザードが表示されたら、「一覧または特定場所からインストールする」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「検索しないで、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
9. 「ディスク使用」をクリックし、「製造元のファイルのコピー元」を「D:\」にして「OK」をクリックする。
10. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」をクリックする。
    「Windows ロゴテストに合格していません…」と表示された場合は、「続行」をクリックしてください。
11. モニタ名に本機が表示されていることを確認し、「完了」をクリックする。
12. 「閉じる」をクリックして、「画面のプロパティ」を閉じる。
13. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
14. CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出す。

VESA 規格準拠アームの取り付け方

VESA 規格に準拠した市販のアームを取り付けることができます。アームはお客様でご用意ください。

※本機に取り付けるアームは、以下の点に注意してお選びください。
- ・VESA 規格に対応し、モニターに取り付ける部分のネジ穴間隔が 75mm × 75mm のもの
- ・モニターを取り付けても、外れたり、倒れたりしないもの

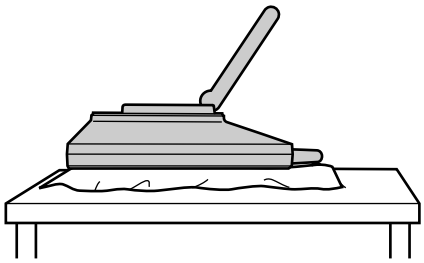
※ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わらないようにしてください。断線などの故障の原因になります。

※本書とともに、アームに付属の説明書もよくお読みください。

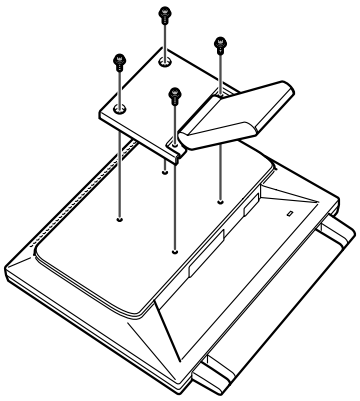
1. ケーブルを取り外す。

2. 安定した水平な机などの上に、柔らかい布などを敷く。

3. モニターを傷つけないように、表示部を下向きにして静かに置く。



4. ネジ(4 本)を外して、スタンドを外す。

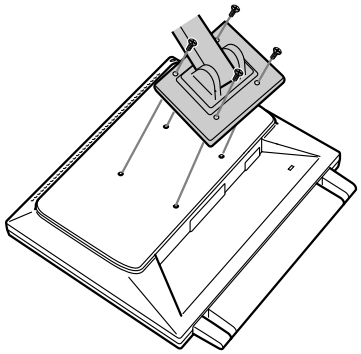


※スタンドは本機専用です。取り外したスタンドは他の機器で使用しないでください。

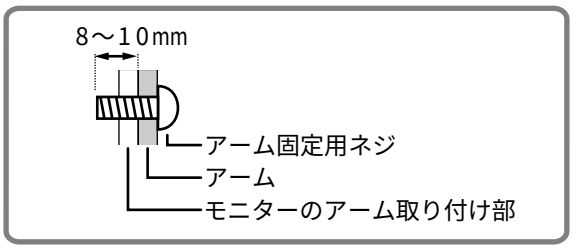
※取り外したネジは、スタンドとともに保管し、再度スタンドを取り付けるときは、必ず元のネジを使用してください。別のネジを使用すると、故障などの原因になります。

> ⚠ 注意 **スタンドを分解しないでください。**
> 部品が飛び出して、けがの原因になることがあります。

5. アームをネジ(4 本)で固定する。

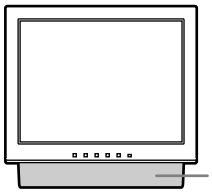


※固定用のネジは、アームの取り付け面からの長さが 8 ～ 10mm の M4 を使用してください。指定以外のネジを使用すると、脱落や、モニター内部の破損の原因になります。

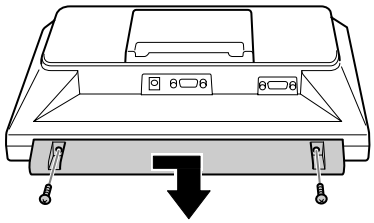


? Memo

※ フロント・スタンドを取り外すこともできます。



①ケーブルを取り外す。
②柔らかい布などを水平なところに敷き、表示部を下向きにして静かに置く。
③ネジを 2 本外し、フロント・スタンドを取り外す。
※フロント・スタンドを少し右に動かしてから手前に引きます。



※ 取り外したネジは、フロント・スタンドとともに保管し、再度フロント・スタンドを取り付けるときは、必ず元のネジを使用してください。別のネジを使用すると、故障などの原因になります。
※ 再びスタンドを付けて使うときは、必ずフロント・スタンドも取り付けてください。

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

●製品についてのお問い合わせは‥			
お客様相談センター	東日本相談室 西日本相談室	TEL **043-299-8021** TEL **06-6794-8021**	FAX **043-299-8280** FAX **06-6792-5993**
《受付時間》　月曜～土曜：午前9時～午後6時　日曜・祝日：午前10時～午後5時　(年末年始を除く)			

●修理のご相談は‥	19ページ記載の『**ご相談窓口のご案内**』をご参照ください。

●シャープホームページ	http://www.sharp.co.jp/lcdmonitor/

(2003年5月現在)

シャープ株式会社

本　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報システム事業本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

Printed in Taiwan
P/N：0NIT1200T-001①
1925-1300-4790